

日・キルギス外交関係樹立 30 周年に際する祝賀書簡交換の実施

1月26日、前田大使は、キルギス外務省を往訪し、カザクバエフ外務大臣との間で、1992年の同日に樹立された日・キルギス外交関係30周年に際する岸田文雄総理及びジャパロフ大統領及び外務大臣間の祝賀書簡交換を行うと共に、キルギス側からマミトフ議会議長発山東昭子参議院議長及び細田博之衆議院宛祝賀書簡が手交されました。

書簡交換に際し、前田大使から、独立後のキルギスの民主化・市場化の歩みを高く評価すると共に、30周年を節目として両国の政治、経済、文化といった多方面での一層の関係強化に取り組んでいく旨述べました。

カザクバエフ外務大臣からは、過去30年間に行われた日本政府によるキルギスの社会経済発展に向けた支援に対する謝意が表明されると共に、次の30年の両国の一層の協力関係発展への期待が述べられました。

同会談において、「中央アジア+日本」対話を含む二国間及び多国間フォーマット、首脳を含むハイレベルでの相互訪問を通じた両国政府間の交流・対話の継続の重要性が指摘されました。また、貿易、投資、地域開発、人材育成を含む経済、ビジネス分野での更なる協力の発展可能性につき意見交換がなされると共に、前田大使より、日本企業の取組みや、JICAによる「一村一品」などの日本政府によるプロジェクトの今後の計画につき紹介がなされました。同時に、30周年を節目として、これまで培われてきた両国の友好関係を基礎として、文化行事や留学制度の実施を通じ、両国間の交流を一層促進していくことで一致しました。

